

# 庁議の概要

開催日：H16.12.8

## 項目

- 1 政府提案要望及び平成17年度政府予算対策の取組方針について【企画振興部・商工労働部】
- 2 12月定例県議会の質問情報について【各部局】
- 3 その他
  - (1) 三位一体の改革について(情報提供)
  - (2) 知事より
  - (3) 副知事より

## 内容

- 1 政府提案要望及び平成17年度政府予算対策の取組方針について  
企画振興部長から、政府予算対策関係の今後のスケジュールとこれに係る情報収集体制、商工労働部長から、提案要望の具体的な内容について説明があり、了承した。

### 【説明内容】

#### (企画振興部長)

- ・情報収集は東京事務所職員を中心に行い、予算対策本部としての特別な位置付けはしない。
- ・知事要望活動は、12月21、22日を予定している。
- ・知事には、要望活動と併せて、  
宿毛佐伯間フェリー航路再開への支援に対するお礼  
菜生(なばえ)海岸被災原因調査への協力に対するお礼  
などもお願いする予定である。

#### (商工労働部長)

- ・知事には、文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構に対して、産官学の交流及び産官学連携事業の研究成果の育成を図るための拠点となる「研究成果活用プラザ・サテライト」の設置を要望してもらいたい。
- ・研究成果活用プラザ・サテライトは、昨年度から要望している。17年度は全国でサテライトを8ヶ所、四国で1ヶ所を設置する予定であり、四国では徳島、香川も要望している。

## 2 12月定例県議会の質問情報について【各部局】

各部長から説明した後、意見交換を行った。また、総務部から12月14日に開催される全国知事会に知事が出席予定であるため、質問日程が若干変更になる旨の説明があった。

## 3 その他

### (1) 三位一体の改革について(情報提供)

#### (企画振興部長)

- ・昨日、総務大臣と地方6団体の代表との意見交換が行われた。
- ・地方6団体は、地方交付税は16年度以上の額が確保されるべきであり、削減されるようなことになれば、現内閣に対する不信任決議運動を全国的に展開することも辞さない覚悟であると表明した。
- ・財務省は、地方交付税にまだまだ切り込みをするつもり。11月26日の政府・与党合意にある「地方団体の安定的な財政運営に必要な地方交付税、地方税などの一般財源を確保する」の一般財源に、臨時財政対策債を含めない(判断で削減できる対象である)という考えを持っている。そうなれば、臨時財政対策債を削減することで地方は影響を受ける。

(2) 知事より

- ・副知事から、身体の調子のお話はずっと聞いていたが、差し迫って受け止められていなかったところもあり、(後任人事については)あらかじめ準備をしながら同時並行でということにはなっていない。
- ・先日、記者の方にもお答えをしたように、12月議会での提案は難しい。人に関わることなので、自分で直接話をしなくてはならない。
- ・今のところ、いつまでにといいことは言えないが、出納長も不在なので、そのことも含めてできるだけ早く何とかしなければならないと考えている。
- ・副知事不在の間の決裁については、各部局長、理事にお願いしていくかどうかということを経済部長に検討してもらっている。
- ・その他のことは、今の仕組みで特段の支障はないので、副知事の職務の代行を誰かにというようなことは考えていない。

(3) 副知事より

この度、私は12月10日付けをもちまして、副知事の職を辞任させていただくことになりました。任期途中の退任でありまして、選任をいただきました知事、そして私を支えていただきました皆様方には本当に申し訳なく、心からお詫びを申し上げたいと思います。この3年間、知事の補佐役として、全力を傾注して参ったところではございますけれども、何分にも力不足のため、知事をはじめ皆様方には何かと御迷惑をおかけいたしました。が、皆様方には温かい心からの励ましと御協力を賜りましたこと、私にとりまして生涯忘れることではありません。心から厚く御礼を申し上げたいと思います。今、県政はかつて経験したことのない未曾有の厳しい状況の中にありますが、どうか知事を中心として一致団結をされ、この難局を乗り切っていただきたいというように思います。そして、皆様方どうかお一人お一人が健康には十分留意をされまして、一層の御活躍、そして御多幸を念じながら、簡単ではございますけれども、退任の御挨拶にかえさせていただきたいと思います。たくさんのお心をいただきました。本当にありがとうございました。